

新任のごあいさつ



副病院長
(歯科担当)
歯周病科長・
高次歯科診療部長

湯本 浩通
(ゆもと ひろみち)

4月から副病院長(歯科担当)を拝命いたしました。近年、歯周病などの口腔感染症と全身疾患との関連に加えて、口腔ケアによる入院期間の短縮や手術後の合併症の減少なども示されており、医科歯科連携の重要性が高まっています。このことから、歯科全体の取り組みとして、口腔管理センターの周術期口腔機能管理体制を一層強化しました。今後も安全・安心かつ高度・先進的な歯科医療を提供できるように運営し、地域の皆様のQOLの向上に努めて参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



副病院長
(医療安全管理担当)
脳神経外科長

高木 康志
(たかぎ やすし)

令和3年4月1日付けで副病院長(医療安全管理担当)となりました高木です。安心・安全で質の高い医療を地域の皆様にお届けすることは徳島大学病院の使命です。安全管理部や感染制御部をサポートして、これまで以上に徳島県の皆様に貢献できるように、力を尽くしたいと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。



小児歯科長
岩崎 智憲
(いわさき ともひり)

令和3年2月1日付で小児歯科長を拝命いたしました岩崎智憲と申します。私はこれまで顎骨が未発達なために発症する小児の睡眠時無呼吸の診断、歯科的治療、そして歯科的予防の研究と臨床に力を入れてきました。今後は小児のう蝕などの一般的な歯科疾患だけでなく、睡眠歯科医療の面からも徳島の医療に貢献できるよう努力してまいりますので何卒宜しくお願い申し上げます。



腎臓内科長
脇野 修
(わきの しゅう)

4月1日大学院医歯薬学研究部腎臓内科分野に着任いたしました。前任地慶應義塾大学では生活習慣病による腎臓病診療にかかわりました。糖尿病や高血圧による腎臓病は早めの対策が大切です。腎臓病の重要性を徳島県に広めたいと考えております。また大学病院では総合腎臓病センターを設立し、病院全体の腎臓病の診療をさらに充実させております。地域の先生方、そして病院内の他科の先生方の診療に貢献できるよう尽力いたします。



むし歯科長
保坂 啓一
(ほさか けいいち)

私はこれまで、低侵襲の機能・審美接着再生治療を専門とし、むし歯の治療、すりへった歯の治療、変色歯のホワイトニング治療などを行って来ました。最近では、発展著しいデジタル技術を活用することで、治療時間が短く、かつ正確で精度の高い治療が可能になりました。患者さんの健康な歯を削らず保存することによって、地域の方々の健康増進に貢献できるよう尽力しますので宜しくお願いいたします。